

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
420013	X-33/13-B-3-420013	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
情報プロジェクト特論／情報システム特論	西山 茂			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	専門	必修	3年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択	3年
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	必修	3年		
授業目的							
<p>(1) 現実の社会状況に対する知見を広げるため、産官学等社会で活躍している方を講師に招き、講師の業務分野等のトピックをお話しして頂く。また、当該分野での ICT 利用方法等について学ぶ。</p> <p>(2) 現代の社会活動の基本であるプロジェクト活動を体得する：履修生自身が組織・運営する複数のチーム（プロジェクト）を編成する。各プロジェクトは役割分担を含む組織構成を決め、問題・課題（目標）設定、スケジュール設定を行い、進捗管理・成果管理法を決め、文書化する。計画に対する進捗を管理しながら活動し、目的達成を図る。15 回目の授業でプロジェクト活動成果を報告する。</p> <p>本授業は、以下のディプロマポリシーに関連する。 <仕事の仕組みをシステムの考え、データを重視した論理的な判断ができること。> <自主的、計画的に情報を集め、考察し、自らの見解を加えて記述し発表する力があること。></p>							
各回の授業内容							
<p>第 1 回 【授】 授業オリエンテーション 【前・後】 事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）</p> <p>第 2 回 【授】 外部講師による講義 1 「プロジェクト管理技術」に関する講義 【前・後】 事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）</p> <p>第 3 回 【授】 外部講師による講義 2 「政府・自治体等の政策・動向」に関する講義 【前・後】 事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）</p> <p>第 4 回 【授】 外部講師による講義 3 「社会状況、ICT 動向等」に関する講義 【前・後】 事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）</p> <p>第 5 回 【授】 外部講師による講義 4 「社会状況、ICT 動向等」に関する講義 【前・後】 事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）</p> <p>第 6 回 【授】 外部講師による講義 5 「社会状況、ICT 動向等」に関する講義 【前・後】 事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）</p> <p>第 7 回 【授】 プロジェクト編成 キックオフ、課題の大枠、プロジェクト内役割分担（組織）の設定 【前・後】 事前配布資料による予習・復習（予習 2 時間、復習 2 時間）</p> <p>第 8 回 【授】 プロジェクト活動 プロジェクト計画書策定、計画書レビュー、目的達成のための活動 【前・後】 プロジェクト計画書策定、計画書レビューのために事前予習 2 時間、事後 2 時間を充てる</p>				<p>第 9 回 【授】 プロジェクト活動 目的達成のための活動、中間成果の整理、進捗管理 【前・後】 プロジェクト活動を事前 2 時間、事後 2 時間行うこと</p> <p>第 10 回 【授】 プロジェクト活動 目的達成のための活動、中間成果の整理、進捗管理 【前・後】 プロジェクト活動を事前 2 時間、事後 2 時間行うこと</p> <p>第 11 回 【授】 プロジェクト活動 目的達成のための活動、中間成果の整理、進捗管理 【前・後】 プロジェクト活動を事前 2 時間、事後 2 時間行うこと</p> <p>第 12 回 【授】 プロジェクト活動 目的達成のための活動、中間成果の整理、進捗管理 【前・後】 プロジェクト活動を事前 2 時間、事後 2 時間行うこと</p> <p>第 13 回 【授】 プロジェクト活動 目的達成のための活動、成果の最終整理、進捗管理 【前・後】 プロジェクト活動を事前 2 時間、事後 2 時間行うこと</p> <p>第 14 回 【授】 プロジェクト活動 成果報告資料作成 【前・後】 成果報告に向けて、プロジェクト内議論、成果資料作成を事前、事後 2 時間行うこと</p> <p>第 15 回 【授】 プロジェクト活動成果発表 【前・後】 プロジェクト報告のため、発表練習を 2 時間、事後整理を 2 時間行うこと</p> <p>第 16 回 【授】 講評とまとめ 試験は実施しない。日々の活動及び成果報告を評価する 【前・後】 プロジェクト報告のため、発表練習を 2 時間、事後整理を 2 時間行うこと</p>			
成績評価方法							
<p>試験は実施しない。日々の活動及び成果報告を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部講師講義受講アンケート及び講義受講レポート提出（各回の講義内容の要点と所感）（5 回）：35% プロジェクト計画書：10%、プロジェクト成果発表：40% 活動態度：10%、及び履修生個々に行う報告時の他プロジェクト評価：5% プロジェクト活動は必須である。プロジェクト評価を個人成績に反映する。プロジェクトメンバに登録してもプロジェクト活動（集団活動）に貢献しなかった者は評価しない。 <p><フィードバック法></p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの進捗、方向性については、毎時間各プロジェクトのリーダーに発表させ、その場で教員が講評する。 プロジェクト報告については、全報告終了後、時間内に教員が講評する。 							
教科書・参考書							
<ul style="list-style-type: none"> 教科書はない。毎回、講義スライドのコピーを配布する（HP や Campusmate 等の電子的手段）ほか、必要があれば次回講義に関連する URL 等を紹介する。 各種白書（情報化白書、情報通信白書、情報サービス産業白書、等）、@IT、日経 BP 等の情報サイト 							
受講に当たっての留意事項							
<p>(1) 外部講師講義では積極的質問すること。</p> <p>(2) 講義情報、受講レポート、プロジェクトチーム活動は、Campusmate 等電子的手段を活用する。</p> <p>(3) 授業時間の外に、レポート作成やプロジェクト活動にある程度の時間をかける必要がある。</p> <p>(4) 外部講師講義のテーマ及び授業順序は入れ替わることがある。</p>							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施
○	担当教員は、企業の研究開発部門および営業部門、自治体の情報企画部門で実務経験がある。						○
学習到達目標							
<p>(1) 5 つの講義テーマ関連領域についての最新の知識を獲得し、その要点を説明できる。（受講アンケートと受講レポートの提出：35%）</p> <p>(2) プロジェクトチーム活動を通じて、与えられた制約下での業務の進め方、リーダー役実践によるチームまとめ能力、チーム活動手法などを習得する。（プロジェクトチーム活動及び成果報告：65%）</p>							
JABEE							
関連する学習・教育到達目標：F、G							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習